

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	「入所時アンケート」結果の活用や毎月のモニタリング方法等に基づき、画一的で無く個別の意向や現状に添った介護計画になっていない。	本人や家族の意向に沿うような介護計画を立案する。	今一度、アンケート結果や面会時に家族から話をお聞きし、モニタリングと照らし合わせながら介護計画を立てて行く。	3ヶ月
2	55	居室の排泄用品等については、利用者本人が使用するもの以外は見えないところに隠し、尊厳に配慮した工夫が出来ていない。	落ち着いた景観づくりを意識し、常に片付いている室内にしていける。	個人で購入された排泄用品を、それ用のケースなどを検討し、一目ではわからないよう工夫する。	1ヶ月
3	36	テーブル席の高さが一定の為車椅子のまま食事を摂取する利用者に高さがあるのか、車椅子での食事提供を含めて確認し、快適な食事支援に配慮が出来ていない。	無理のない生活を送って頂けるよう意識し、常に個々に合う生活作りに努めていく。	食事時に、車椅子から椅子に変えられる方については椅子を使用していただき、変えられない方については、車椅子に高低差があるため、まず使用いただいている車椅子の高さを見直す。	1ヶ月
4	40	食事時間でのBGMの必要性や根拠、分かりやすい献立の掲示等、利用者の快適性や情報伝達について工夫が出来ていない。	ゆっくりと落ち着いた環境で、食事を楽しんでいただけるよう配慮していく。	当日の献立の表示をおこない、食事を楽しみにしていただけるようにする。BGMについては、利用者の反応を見ながら対応していく。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。